

災害リスクを 防災セミナー 正しく伝えるために

北海道胆振東部地震以降の変化に対応する

参加無料

日時 2019年12月9日月 13時~17時(開場12時30分)

定員180名

会場 札幌コンベンションセンター 小ホール (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

第1部 「多発する自然災害と防災」

講師 気象予報士・防災士 **菅井 貴子 氏**

温暖化とみられる影響で巨大台風の増加や、爆弾低気圧の発生など異常気象が多数観測されています。

今後「台風+地震」、「寒波+地震」などの複合災害も十分考えられ、災害につきものの停電に対し、エネルギーの確保をどうするかは大きな課題となります。

自身の経験や取材で得た情報を織り交ぜながら災害の対応方法などを解説します。

プロフィール

北海道から九州まで、全国各地の放送局で天気コーナーを担当。2005年に北海道に移住し、現在、UHBの「みんなテレ」に出演中。気象予報士のほか防災士、上級ファイナンシャルプランナー、健康気象アドバイザーなどの資格を取得し、様々な執筆や講演で活躍しています。



第2部 「ハザードマップ作成者からの提言」

講師 北海道地図株式会社 取締役 総合技術センター担当 **関 洋祐 氏**

道内のハザードマップ作製を多く手掛けているスペシャリストに、地震・土砂災害・浸水など、災害ごとのハザードマップをどのような視点から捉え、作製しているのかを紹介。

また、有効な活用方法や伝え方についても案内します。

第3部 「土地リスク情報の使い方・伝え方」

講師 ジャパンホームシールド株式会社 北海道支店 主任 **村上 隆彦 氏**

建築・不動産事業者から住宅購入者へ向けた土地情報リスクの開示方法や各種ツールの利用方法をはじめ、全国の工務店・ハウスメーカーの対策実例をご紹介します。今後の事業者の調査・説明義務への対策について案内します。

第4部 「北海道胆振東部地震で液状化した清田区里塚から学ぶ」

講師 北海道大学 大学院 工学研究院 教授 **渡部 要一 氏**

北海道胆振東部地震において清田区で発生した液状化被害の実態と再発の可能性について解説し、液状化しやすいエリアでの災害リスクに備えるために、今後必要となる知識や対策について専門家の見地から紹介します。

プロフィール

北海道大学工学研究院 環境フィールド工学部門 防災地盤工学分野で活躍しており、北海道胆振東部地震では(公社)地盤工学会の災害調査団副団長としても現地にも多く入り、液状化被害について報告をまとめています。

主催

- 株式会社 北海道住宅通信社
- 石油連盟 北海道石油システムセンター
- ジャパンホームシールド 株式会社 北海道支店

後援

- 一般社団法人 北海道建築士事務所協会
- 一般社団法人 日本木造住宅産業協会 北海道支部
- 公益社団法人 北海道宅地建物取引業協会
- 一般社団法人 北海道ビルダーズ協会
- 株式会社 LIXIL 北海道支社
- 株式会社 LIXIL イーアールエージャパン 北海道支店

問い合わせ先 TEL 011-864-8580 (株式会社北海道住宅通信社)

防災セミナー 災害リスクを正しく伝えるために

北海道胆振東部地震以降の変化に対応する

下記に必要事項を記載の上、
FAX して下さい。
確認の上返信します。

①WEBから→ <https://www.juu-tsuu.jp/seminar/>

②FAXから→ 送付先 **FAX 011-864-6321** (株式会社北海道住宅通信社)

F A X 申 込 書	会社名	電話	FAX
	住所		
	参加者名	役職	参加者名 役職
	※複数参加の場合は こちらに記入ください		

※個人情報はセミナーのご案内のみに使用します。※万が一、2日以上経過しても返信が届かない場合は、お手数ですが弊社まで電話にてご連絡をお願いいたします。
※受付時に名刺を1枚ご提出ください。

同時開催

防災関連展示

入場
無料

セミナー当日の11時から、防災に関するブースを出展いたします。液化化模型や地震保険にプラスできる地震補償(少額短期保険)、石油関連防災商品など、建築・不動産事業者様に必要な情報や商材、サービス等を紹介いたします。

日時 2019年12月9日(月) 11時~17時30分

会場 札幌コンベンションセンター 204会議室(小ホールとなり)